



UP-LE

Vol.35

2000年3月15日

学校法人コア学園
 飯田コンピュータ専門学校
 〒395-0823 長野県飯田市松尾明7591
 ☎0265-22-5111・FAX.0265-22-5100
 URL●http://www.iidanet.or.jp/ica
 E-mail●ica@iidanet.or.jp

ふるさとの山河 —いつまでも心に—



西暦二〇〇〇年。新しいミレニアム(千年紀)のはじまり。情報通信・コンピュータ関連技術の革新と共に、急速に且つ著しく変革しつつある社会。世界全体が新しい秩序を求め大きなうねりの中にある今日、今こそ「心」の有り様が問われる。人と人との出会いを尊重する心、美しいものを美しいと感じる心、生まれ育ったふるさとに想いを馳す心、…大切に育んで行きたい。

南向きの大きな窓

今、再び「人づくり・仕事づくり・まちづくり」

学校長 榎原英勝

突然の昭和天皇崩御の報に接したのは、確かサンフランシスコからロスへ向かう観光バスの中であった。学園グループが企画した初回の海外研修に、随員として参加する機会を得た旅先のこと。そして時代は「平成」へと代わった。多少の違和感と共に、平成の二文字の書かれた色紙を頭上に掲げ、緊張に満ちた表情で記者会見に臨む小淵官房長官(現内閣総理大臣)の姿が今も脳裏に鮮明である。

その平成も既に十余年。そして、時は次なる千年紀ともなった。「光陰矢のごとし」というが、全くあっという間に過ぎ去った十年余を振り返るとき、その変化の大きさと激しさには驚きを禁じ得ない。

この学校は、正に時代が移らんとする節目の昭和は六十二年四月、開校した。前年に北海道帯広市に誕生したコア学園グループの長姉校に続く二番目の学校として、飯田市によって誘致、設立されたのである。

初代理事長の山本明氏(元自治大学校長)の、「人づくりから仕事づくりへ、そしてまちづくりを」という設立の理念は、若者の定着による地域の活性化を願う地方都市の施策と相俟って、力強い支えの中に大きな期待と共に船出した。

その山本理事長も他界して既

に五年。多分今頃は草葉の陰から、「インターネット」に象徴されるごとく急速に変貌する社会にあって、大海に漂流する小舟のような当校の行方を、ハラハラしながら見守っていてくれるに違いない。

大きな荒波に見え隠れしながら必死に船を進めようと悪戦苦闘するのは、ひとり当校のみならず全てに共通する今日只今の現実であろうが、ただ、その目先のことだけに集中せざるを得ないのでは、何とも情けないものだと思わぬ思いである。

勿論、出来るだけ水を被らない安全なルートを的確に判断することや、浸かった水を掻き出すだけでも相当な努力を強いられるのが現実で、乗組員一同、最善を努めていることに些かの疑いも無いが、そのことが全てであると、果たして船首は明るい光の方向へ向いているのだろうか、そしてまた新しい大陸を目指しているのだろうか、その極めて重要な自問を失いがちな日常である。

この船は今、正しく「人づくり・仕事づくり・まちづくり」に向かっているのだろうか。と、従来の社会システムが音を立てて崩れ行く先に、新たな産業や社会の創造が希求される現代にあって、再び原点に立って、当校に求められる役割や責任を、しっかりと見据えて行かなければならない時と思う。

その山本理事長も他界して既

● 一日研修に参加して

学校で計画していた長野への一日研修に参加しました。

長野市のフルネットセンターでは、特殊なメガネをかけてオリンピック映像などを見学するとともに、マルチメディア体験コーナーでオリンピックに関するインターネットを利用したり、スタジオや調整室(映像編集室)等の説明も受けましたが、想像以上の施設の素晴らしさに驚きました。

夕食は善光寺で、ここは高校時代の学校行事に続いて二回目。相変わらずの観光客の混雑でしたが、何となく、高校時代に比べて、町並みの様子などをじっくり興味を持って見学できたと思います。

午後は、ここも高校時代に訪れたことのあるオリンピック記念アリーナ(エムウェーブ)で

した。ここも高校生の時には外観から見学した程度だったので、初めて入る施設内は、先ずその大きさに驚きました。

丁度、食品や衣類等の生活用品から、大きなものでは乗用車までと、様々な商品の展示即売会が催されており、オリンピック関係の展示場にあわせて見学する機会を得ました。

往復四時間以上のバスの旅には若干疲れましたが、様々な施設やイベントなどの見学で、大変勉強になったと感じています。

(下雄)

念アリーナ(エムウェーブ)で通じて、相互をより身近に感じることの出来る学校に、という主旨の交流会としてボーリング大会を開催することにしました。

自治会長としての責任の重みから、最初は消極的になっていました。この学校を、単に知識や技術を学ぶための所として考

えていた自分に気が付いたからです。特に、コンピュータと毎日向かい合う生活に慣れてきたせいか、人と人のコミュニケーションが薄れて来てしまっていたとさえ思いました。

けれど、そうして我に返ったことをきっかけに、自分が務めることの重要性を知り、交流会開催の日の一週間前と急でしたが、取りまとめを本格的に再開しました。

夏休みの一週間前ということもあり、事前に予定の



こんなことが
ありました

● ボーリング大会を催して

ある人たちもいて、全員参加とまでいきませんでした。先生方も合わせてかなり大勢で行うことが出来ました。

何より、皆で楽しい時間を共有することに意義があったと思うのですが、どうでしたでしょうか？

私の感じたところは、誰もが楽しくその場に会話をしたり、友達に拍手をしたり、とても充実した時を過ごしていた様

でした。勿論、普段の生活の中で、仲間というものはそういう

ものなのですが、専門学校という個人同士の集まりの中で過ごす楽しい時間は大切なのだなと思

います。

このイベントを通じて、皆さんの人の暖かい心を知ることが出来たのがとても印象的でした。

(自治会長・日子)

毎年恒例の行事となった「防災訓練」であるが、今年度は丁度、雇用センターから委託された「情報ビジネス科」の開講中であり、これを受講する方々や、新たに校内に整備された研究室やふれあいサロンなどを利用する方々など、例年に比べて多勢の参加により実施された。

予め想定され、また、予告の上での訓練であり、整然と無事これを終えたところだが、一朝災害の発生とならば現実はどうだろう。因みにその後、不注意から廊下の非常ベルが押されて、

校内騒然となる思わぬハプニングがあった。

不特定多数の利用する施設であるところから、万が一非常事態となれば、如何に早く安全に避難、誘導するか、ここに勤める者もまた利用する者も、最低このことだけは普段から心がけたいものである。

から廊下の非常ベルが押されて、



こうしたお話も伺いました

—本年度の主な特別講座—

- ・「インターネット時代の情報通信」
信州大学工学部教授 天下真二郎先生
- ・「エイズ予防フォーラム「生きる—レンズから見たエイズ—」(セミナーへの参加)
- ・「インターネット上のデータベースに関わる問題点と協調処理の試み」
名古屋工業大学教授 石井直宏先生
- ・「技術を売る企業へ」
アコーデックス社長 小池一義氏
- ・「空気や水の流れを見直そう」
信州大学工学部教授 土屋良明先生
- ・「コンピュータ西暦2000年問題」
多摩大学教授・コンピュータジャーナリスト 那野比古先生
- ・「マルチメディアと高齢福祉社会」
ビデオジャーナリスト 正木なおこ先生
- ・「情報工学者の見たルーマニア」
信州大学工学部教授 松本光功先生
- ・「21世紀コミュニティ社会を考える—新エネルギー開発とエコマネー—(セミナーへの参加)
- ・「eビジネス導入セミナー「eビジネスが創る新たな商取引」(セミナーへの参加)

「ママパソコンスクールを開校」

今年度初めての試みとして、「夏休み子供パソコン教室（サマーパソコンスクール）」が、八月二日～四日までの三日間に亘って催された。

これは、文部省において新たに計画された「土曜日・夏休み専修学校体験学習」の施策を受けて企画、実施されたもの。

実践的な職業教育や専門的技術教育を行う専修学校を活用して、子供達や保護者に対して様々な職業に関する体験的な学習機会を提供しようとする主旨の事業であった。

会期の三日間とも、午前の部と午後の部それぞれに、「パソコン入門」「Windows入門」「ホームページ作成」の各講座を用意し、更には、「インターネット体験コーナー」や「マルチメディア

体験コーナー」もあって、親子連れや仲間と連れ立つ子供達の姿が見受けられた。

初めての企画で準備時間も少なかったためか、PR不足の傾向が見られ、参加者は決して多くはなかったものの、連日顔を覗かせる小学生のグループなど、興味や関心を寄せて貰う機会としては、意義があったように思われる。



しても、今後も大いに計画していきたいとしている。

障害を有する人たちを支援 「ふれあいサロン」

情報化アシスト事業に関連して、身体に障害を持つ方々に、パソコンの操作技術やホームページ制作技能などを習得してもらい、それにより収入を得、生活を支えて行くことを狙いとした事業が推進されている。

「ふれあいサロン」では、登録制で、現在九名の方が、それぞれの生活リズムに合わせて、研修からデータ入力作業等に取り組んでいる。



ITSセンターは 小・中学校サポート窓口

昨年十一月からスタートした「ITSセンター」は、国（労働省）の緊急地域雇用対策として平成十一・十二年度に亘る二ヶ年の事業だが、学校では、将来は飯伊地方全域の教育関係者から利用して貰えるような事業に充実

一九九九年は、学校にとって大きな新しい事業が幾つもスタートする年となった。その一つが、「情報化アシスト事業」であるが、これは、従来より校内に設けられた「地域情報化研究所」（インターネットの共同研究やパソコンシステムの共同研究や地域情報化の支援事業を担当するセクション）の役割を更に推し進めるために、飯田市から事業を委託されたもの。チームは情報関連産業の新たな創

出であり、起業家の育成・支援と、大変難しいが、現代、最も必要とされる重要な課題である。校内を若干改造し、極めて小規模ではあるが四つの研究室を設置。これを貸与し、または利用して学校の担当者と共同して開発研究を行うのが内容。



現在、マルチメディア関係で当地への事業展開を目指すPGラボ社（巨木さん・大坂出身）が、施設を利用しており、また地元の数社が社内システムの開発を実施中。担当者が時々訪れ、研究所職員と共に共同作業に利用されている。

学校では、将来はこうした共同研究に学生も参加して、実践的な技術力を培って貰うことを期待している。

support@school

ITS Center
GUMMA, CA

開設準備室

。ご活躍をお祈り申し上げます。
 (飯田市議会議長 小林利一)
 。厳しい時代ですが、情報化社会の進展により可能性も広がっています。地道な努力を大切に
 して前進してください。(飯田市松尾支所長 澤柳陽一)
 。たいへん厳しい社会情勢、経済情勢の中、卒業生の皆さんは必ずはお目出度うございます。また、保護者の皆様方には心よりお祝い申し上げます。真の二十
 一世紀に向かって、その担い手としてご活躍をお祈り申し上げます。(飯田勤労青少年ホーム館長 高田 正)
 。ご卒業おめでとうございます。情報化社会の一翼を担って二十
 一世紀に向けて羽ばたく君達の熱意に期待します。(長野県議員 塩沢 昭)
 。栄えあるご卒業、修了おめで
 とうございます。一生懸命勉強されたことを実社会で大きく生
 かされて新たな人生へ自信をもつてチャレンジされますことを心
 からご期待申し上げます。励
 励のメッセージいたします。(長野県議員 今井勝幸)
 。コンピュータが人間生活で必
 須となりました。修得した技術
 を今後の社会人生活で発揮して
 ください。明るく大きく翔いて
 ください。(長野県議員 森
 田恒雄)
 。マルチメディアからネットワー

クへ情報技術革命の時です。飛
 躍を期待します。(株式会社飯
 田ケーブルテレビ取締役専務
 原 勉)
 。ご卒業誠におめでとうございます
 ます。次世代をになう皆さん学
 校で学ばれた全てを社会に出
 て充分活かされる事を心より祈念
 申し上げます。(天恵製菓株式
 会社取締役社長 片桐 裕)
 。かたが心を正し、心がた
 ちを整える。一振舞い方を学ぶ
 ふさわしいかたちを意識し身に
 つける。かたが心を育ててい
 く。この原点を確かめ自信をも
 て歩んで下さい。(龍共印刷株
 式会社取締役社長 久保田秀文)
 。御卒業おめでとうございます。
 急速に進展する情報化社会のな
 か地域社会で一層パワーアップ
 して御活躍をお祈りいたします
 (株式会社マツザワ代表取締役
 社長 松澤 徹)
 。後藤静香著「権威」より
 本気ですればたいていな事はで
 きる
 本気ですればなんでも面白い

みなさんの社会人としてのご活
 躍を期待しております。(下伊
 那教育会長 堤 久)
 。ご卒業おめでとうございます。
 希望に満ちた門出にあたり、幸
 多からんことを祈念申し上げ
 ます。(飯田高等学校長 小林
 正明)
 。卒業生のご活躍を祈念申し上
 げます。(飯田長姫高等学校長)
 。卒業おめでとうございます。
 これからは社会人です。新しい
 社会でのご活躍を期待します
 (阿智高等学校長)
 。ご卒業おめでとうございます。
 人生は山あり谷ありです。チャレ
 ンジ精神で頑張ってください。
 (下伊那農業高等学校長 伊澤
 宏爾)
 。ご卒業おめでとうございます。
 来るべき二十一世紀は皆さんの
 時代です。修得された能力を礎
 として更なるご発展とご健勝を
 ご祈念申し上げます。(松川高
 等学校校長 武藤行雄)
 。ご卒業おめでとうございます。
 今後のご活躍を心よりお祈りい

授 松本光功)
 。どんな仕事に就いてもまず三
 カ年は頑張ってください。何か
 身につくはずですよ。(名古屋工
 業大学工学部教授 石井直宏)
 。未来を想像できる者のみが未
 来を創造できる。(東京大学工
 学部教授 月尾嘉男)
 。ご卒業おめでとうございます。
 「今が楽しい。今がありがたい。
 今が喜びである。それが週間と
 なり、天性となるような生き方
 こそ最高です」(平沢 興)
 勇気をだして、一步一步前へ進
 んで下さい。(信州大学工学部
 教授 上屋良明)
 。小教職時代のちよう児胸を
 張って頑張ってください(林
 研二)
 。ご卒業おめでとうございます。
 本校で身につけられた知識・技
 能を今後大いに役立ててくだ
 さい。また、本校ではぐくまれた
 友情を大切に、健康で明る
 い人生を送ってください。(小
 池茂彦)
 。天才とは1%のインスピレ

。ご活躍をお祈り申し上げます。
 (飯田市議会議長 小林利一)
 。厳しい時代ですが、情報化社会の進展により可能性も広がっています。地道な努力を大切に
 して前進してください。(飯田市松尾支所長 澤柳陽一)
 。たいへん厳しい社会情勢、経済情勢の中、卒業生の皆さんは必ずはお目出度うございます。また、保護者の皆様方には心よりお祝い申し上げます。真の二十
 一世紀に向かって、その担い手としてご活躍をお祈り申し上げます。(飯田勤労青少年ホーム館長 高田 正)
 。ご卒業おめでとうございます。情報化社会の一翼を担って二十
 一世紀に向けて羽ばたく君達の熱意に期待します。(長野県議員 塩沢 昭)
 。栄えあるご卒業、修了おめで
 とうございます。一生懸命勉強されたことを実社会で大きく生
 かされて新たな人生へ自信をもつてチャレンジされますことを心
 からご期待申し上げます。励
 励のメッセージいたします。(長野県議員 今井勝幸)
 。コンピュータが人間生活で必
 須となりました。修得した技術
 を今後の社会人生活で発揮して
 ください。明るく大きく翔いて
 ください。(長野県議員 森
 田恒雄)
 。マルチメディアからネットワー

卒業 おめでとう

贈る言葉

。ご卒業おめでとうございます。
 今後の活躍を期待しております。
 頑張ってください。(長野放送
 飯田支局長)
 。飯田下伊那の未来にむけて希
 望に燃えてのご卒業おめでとう
 ございます。ボク達でつくる気
 概で頑張ってください。(テレビ
 信州飯田支局長 佐藤 信)
 。卒業おめでとうございます。
 実社会に飛び立つ希望で胸が一
 杯のことと思います。
 どんなことにもまけないでファ
 イトで立ち向かってください。
 (久保田明良)
 。卒業おめでとうございます。学校で学ん
 だ成果をこれからの人生、社会
 生活の中で活かしてください。
 (宮澤泰賢)
 。旅立ちに思う。若者よ勇気を
 持とう。若者よ明日がある、そ
 して今日がある。そして昨日も
 あった。一日一日を有意義にそ
 して時には、戻らぬ勇気を。(宮
 沢史佳)
 順不同、敬称略

第1期～第12期 50音順

アートプランニング IAM電子 Iソフト アイバック 青木製作所 アコードシステム アサヒテック 旭松食品 阿智村農業協同組合 阿智村役場 アドバンス・インフォメーション・デザイン 阿南消防署 新井電気工事 あららぎ観光開発 あららぎ高原カントリークラブ アルゴリズム研究所 アンドー 飯島セラミック 飯田衛生施設組合 飯田管工事業協同組合 飯田カントリー倶楽部 飯田ケーブルテレビ 飯田コンピュータ専門学校 飯田中農協 飯田市役所 飯田精機 飯田地区広域消防組合 飯田中日サービスセンター 飯田電子工業	飯田マツプツ 飯田病院 飯田三菱自動車販売 飯田ロータリークラブ 伊賀良建設 飯田石田電気工事 税理士伊藤博允事務所 伊藤電気 伊那信用金庫 伊那農業協同組合 伊那ナリサーチ 伊南農業協同組合 インターフェイス 飯田ウスイ 飯田エイブル・ジャパン 飯田エージェンシー エービー・ジャパン エトナ エス・イー NEC長野日本電気 エスエスケー・マイクロプレジ ジョン 飯田エスケーシー エステムツール エムエスデー 飯田エム・ケー・シー 飯田エー・イー・エス 飯田姫 長姫調査設計 飯田オフィスメーション	オムロン飯田 オリンバス光学工業 飯田カタヤマ かまどや カルニュー・光学工業 カワイ 木更津信用金庫 輝山会記念病院 北原設備 共栄ダンボール 飯田キョウデン 飯田協和電設 飯田しら美 飯田キンポーメテック 飯田神橋建設 飯田気賀不動産 飯田乾光精機製作所 飯田健生会 アルテンハイム会地 の郷 コアインフォメーションカレッジ(CIC) 飯田コアエンジニアリング コアネットインナーナショナル 興亜エレクトロニクス 興亜電気 飯田コアデジタル KOA 飯田コガネ 国民年金保養センター 飯田コクヨ物流中部 小林製菓産業	飯田コム 飯田コムネット コンテックナガイ コンパック 飯田サイジウ 飯田さわむらや 飯田三協精機製作所 飯田三協精機製作工場 飯田三協精機コンピュータシステム 飯田三晃印刷 飯田サンブラザ八幡 飯田三洋グラビア 飯田三洋工具 飯田三洋写真印刷工業 飯田三陽精機 飯田サンエ 飯田シーケーティエンジニアリング 飯田システム・イノベーション 飯田システムアスカ 飯田システムウェアコーポレーション SYSTEMQUEST 飯田システムコア 飯田システムプラン 飯田シンゴ設備 飯田下伊那生協協同組合 飯田下伊那北部農業共済組合 飯田ジャステック 飯田情報 飯田信栄 飯田信英審電器	飯田伸光製作所 信州いただ農業協同組合 信州たつの農業協同組 信州まつかわ農業協同組合 信南交通 信南警備保障 飯田しん美 飯田シンボリックテクノロジー 飯田新葉社 飯田スタンレー伊那製作所 飯田住金制御エンジニアリング 飯田炭平コンピュータシステム 飯田スヤマ工業 飯田制御システムリサーチ 飯田セイコーエプソン 飯田清風苑 飯田セコム 飯田セコム情報システム 飯田西武建工 飯田西武エムデー 飯田千秋社 飯田双信電気システムイン信州 飯田第一コンピュータリソース 飯田第一動銀システム開発 飯田大協建設	飯田電算 飯田天竜丸澤 飯田農業協同組合連合会天龍社 飯田天竜畜産公社 飯田東海興業 飯田東之情報システム 飯田藤測 飯田東洋 飯田東洋エクステリア 飯田駒ヶ根工場 飯田トーエネック 飯田トキナー光学 飯田タニガワ 飯田外松 飯田豊田建設 飯田トヨタカローラ南信 飯田トリエ 飯田バスカリヤ 飯田中平商店 飯田長野銀行 飯田長野西友 飯田長野トヨタグループ 飯田長野日本電産 飯田飯原原産 飯田飯原屋 飯田飯ノ下 飯田TV-4 飯田飯ノ下 飯田テクノシステムズ 飯田天恵製菓 飯田電興社	飯田日進精機 飯田日邦プレジジョン 飯田日本アドバンステクノロジー 飯田日本管理ラベル 飯田日本システムエンジニアリング 飯田日本システムハウス 飯田日本ソフト開発 飯田日本電熱 飯田日本電話施設 飯田日本ハイコム 飯田日本PBX通信工業 飯田日本ラッド 飯田日本連合警備 飯田ネットワークサプライ 飯田ハード技術工業 飯田ハーモ 飯田ハイランドシステム 飯田バスカリヤ 飯田長谷川ふとん店 飯田八十二銀行 飯田八十二銀行訪問センター 飯田羽生循環器科内科医院 飯田原鉄 飯田飯伊生コン 飯田ビジネス・ポイント 飯田(株)ひまわり会前沢眼科 飯田平田商会 飯田富士電機 飯田藤木 飯田富士工業 飯田平安閣	飯田平和時計製作所 飯田平和精密 飯田ベルシャインシザワ 飯田平安堂 飯田(株)北国コンサル 飯田ホテル伊那華 飯田マイクロデバイス 飯田マイショップ 飯田マイナック 飯田松川会館 飯田マツザワ 飯田松沢運送 飯田松本日産自動車 飯田マルイチ産商 飯田マルタ 飯田丸大食品工業 飯田丸西産業 飯田丸九日電機製作所 飯田丸九藤近藤商店 飯田マルマン 飯田ルビコン 飯田ルビコン電子 飯田水 飯田ロジテック 飯田ワールド証券 飯田ワールド測量設計 飯田WAKO長野工場 飯田綿綿 飯田綿綿 飯田綿綿建材工業 飯田綿綿機械 飯田綿綿半ピンギンストア 飯田綿綿半ホームエイド 飯田綿綿緑化	飯田盟和産業 飯田メディット 飯田メルクス 飯田モホーク 飯田森本幸夫税理士事務所 飯田ヤマウラ 飯田山岸 飯田山田工業 飯田ユニバーサルソフトウェア 飯田ユニプリント 飯田養命酒製造 飯田横河アイエムティー 飯田横河プレジジョン 飯田吉川建設 飯田ヨシザワ印刷 飯田御リアルシステムエンジニアリ ング 飯田龍共印刷 飯田ルビコン 飯田ルビコン電子 飯田水 飯田ロジテック 飯田ワールド証券 飯田ワールド測量設計 飯田WAKO長野工場 飯田綿綿 飯田綿綿 飯田綿綿建材工業 飯田綿綿機械 飯田綿綿半ピンギンストア 飯田綿綿半ホームエイド 飯田綿綿緑化
--	--	---	--	---	---	--	---	--

協賛会総会と記念講演会開かれる

平成十一年度の飯田コンピュータ専門学校協賛会（会長：中島威人飯田商工会議所会頭）総会は、六月十一日、学校を会場として開催された。

恒例となった記念講演には、今年は大変新しい職にあって、全国を飛び歩き活躍されるキャリアウーマン、起業家・事業家の正木なおこ先生を迎えて実施された。

テーマを「マルチメディアと高齢福祉社会」と題して、ジャーナリストとしてカメラを通して感じて来られた高齢化社会の問題、

着々と育つ「PCDayプロジェクト」

メディア振興協会の数々の実践の中でも特に内外から注目を受け、着々実績を積み上げているのが、このPCDayプロジェクト。



これはメディア協教育部会（市瀬部会長）が担当され、当校も事務局（ITSセンター）



題、マルチメディア技術の課題などについて講演されたが、特にこの中では、当地喬木村を深く取材された様子について報告があり、更にはそれをテーマとしたTV番組も披露いただき、参加者一同、興味を持って聞き入った。

正木なおこ 先生

元 日本航空国際線スチュワーデス
元 JALアカデミー国際教育事業部マルチメディア担当
現 SHE KNOWS JOURNAL（略称SKJ）代表取締役、森ビル・ARK都市塾情報戦略科講師、森ビル・ARK都市塾ビデオジャーナリスト科講師、日本経済新聞社日系ネット「ニュース英語」キャスター、「トップインタビュー」インタビュアー（99.7より当校特別講師に就任いただく）



等として参画し、積極的に関わっている活動。

当初NetDayとして発足した

このボランティアプロジェクトも、昨年九八年度から「PCDay」に衣替えし、インターネット上に教育用HP（コンテンツ）を構築する活動が進められてきたが、今年度は以下の、四つのテーマが採用され、去る二月十三日には、当校を会場にその発表会も行われた。

なお、新年度も継続して推進されることになっていて、開発テーマの募集が始まっている。九九年年度成果発表のテーマ

「エコマネーは、NPOで…」

エコマネーと呼ばれる地域内通貨が全国的に注目されている。北海道の栗山町など、すでに実験的な導入に踏み切った自治体もあらわれた。

エコマネーは、通産省の加藤敏春サービス産業課長が命名した。これまでのお金では、評価できなかったボランティア活動などに対して発行される。

飯田市の場合、環境問題を切り口に、エコマネーが発行できないものかと現在、市と民間の研究グループ（飯伊地域メディア振興協会事務局・飯田コンピュータ専門学校など）が導入に向けて検討している。

全国的に、エコマネーの運用母体として想定されているのが、NPO法人（非営利組織）だ。NPO法は、一昨年四月に成立した。地域活性化の新たな切り札として、NPOの果たす役割に期待する人たちが今、増えている。（メディア協会事務局）

「音楽から知る飯田・下伊那」
宮田卓夫先生（鼎中教頭）
「環境に優しい家庭科学習」
塚みち子先生（高陵中教諭）
「火を噴く大地」手塚恒人先生（片丘小学校）
「FATYSOUNet」野上俊二先生（竜丘小教諭）

長野フルネットセンターへ メディア協視察研修

設立発起人として当初から深く関わり（設立時は前林学校長が理事長を務める）、当校内に事務局を置く飯伊地域メディア振興協会（今村衛理事長）の、恒例の視察研修事業は、去る二月二十五日、目的地を長野市方面にとり、例年になく多くの参加者を得て実施された。



長野市フルネットセンター

長野市大字川合新田3736-108 TEL 026-225-7777

「フルネット」とは、フルサービスネットワークの略で、何時でも、何処でも、誰でも利用できる情報サービス…（FULLNET CENTERホームページより）。長野オリンピックを契機に設立された長野市のマルチメディアセンターで、インターネット、VOD（ビデオオンデマンド）等が体験でき、マルチメディアコンテンツ制作工房が活用されている。また、ギガビットネットワーク（超高速ネットワーク通信）の研究活動なども盛ん。
URL: <http://www.city.nagano.nagano.jp>

川中島町有線放送農業協同組合

長野市川中島今井1761 TEL 026-284-4263

既存、従来施設である有線放送回線を活用したADSL（非対象型デジタル加入者回線）モデムによるインターネット接続サービスを全国に先駆けて導入、その整備、普及による地域情報化・活性化への取り組みが、全国的に注目されている。また、ここを契機として現在、長野地方では各所にこのADSLサービス事業が展開しつつある。
URL: <http://www.janis.or.jp/agri-or/kuhk>

同窓生の皆さんお久しぶりです

長い間お休みしていた同窓会報「DREAM」が、学校便り「UP-LE」の同窓会コーナーとして再スタートすることになりました。

「DREAM」最終号VOL4から四年が経過し、その間は学校創立十周年パーティーも行われました。当日は、大勢の皆さんにご出席いただき、懐かしい友人、先生方と久しぶりに思い出話を花を咲かせたところでした。その十周年記念から更に三年余、学校の様子、校舎の内外にも少々変化が見られます。しかし、時が流れても先生方は相変わらず、熱心に私たち後輩の教育指導に心を砕いておられますし、最近では、社会人・一般の講座も引き受けたりと一日中大忙しです。今回は、お忙しい中(むりやり捕まえて)先生方に皆さんへのメッセージを一言ずついただきました。

風のたより

今回は七期生のOAコースの同窓会が昨年の夏に行われたという情報をキャッチしました。残念ながら写真はありませんが様子をコメントでご紹介します。

「始まりは、数人でなんとなく集まろうかという話だったんですが、話しているうちにクラスのみんなの話題になってそのうち誰となく同窓会やろうって

ことになったんです。卒業して五年も経つとみんな家庭や仕事などそれぞれに忙しくて来られなかった人もいたけれど二十人くらい集まりましたよ。

(同窓会役員談)

忙しいにも関わらず、クラスの半分くらいが揃うというにぎやかな会になったようですね。

(メンバーの中には隣のクラスの人まじってたとか?)さぞ盛り上がりがあったことでしょう。いつになっても集まれる仲間っていいものですね。

のとする。
第2条 財政状況により、臨時に会費を徴収することもある。
付則 この会則は、平成元年3月7日より施行する。
付則 この会則の一部を変更し、平成3年3月16日より施行する。
付則 この会則の一部を変更し、平成6年1月3日より施行する。

役員名簿

会長	小澤 賢一	松沢 孝則
副会長	木下 晶仁	
会計	新井 智子	
監事	金田 耕児	
幹事	太田真太郎	澤柳八千江
2期代表	大矢 紀子	
3期代表	増田 睦美	佐々木ひとみ
4期代表	橋爪 寛	山田 操
5期代表	木下 紀夫	原 亜希
6期代表	勝沼 公雄	松野 由幸
"	熊谷 陽子	鳴海久美子
"	太田 淳一	上沼 美香
7期代表	塩沢 誠	吉沢 浩亮
"	長村 正樹	岩本 和浩
"	宮下貴美代	
8期代表	北沢 忠士	佐々木葉子
9期代表	長谷川 圭司	荒井 綾子
10期代表	権名 普之	亀村 英子
11期代表	代田 聡	中島美貴子



下平達郎先生

おーい!元気でやっ
てるかーたまには遊
びに来いよなー



久保田浩先生

大地震がよく起き
ていますし、少し前
には(アメリカでさ
え臨界前の核実験を
しているのに)日本では臨界を起こし
てしまいました。

1999年は人類が滅亡することなく終
わりましたが、世紀末の2000年はまだ
これからです。2000年問題も何ごとも
なく過ぎてくれるといいと思います。
そういえば、2000円札もできるそう
です。世の中は、いつも刻々と変わっ
ていることを痛感させられます。最近
は『親どうし』として卒業生と出会っ
たりしますし…。



松島弘明先生

…ひとこと
(寒っ!!)



伊藤康彦先生

皆さんご無沙汰し
ています。

最近、保育園行事
に参加しました。ど
こかで見たような人に会います。うち
の卒業生ではありませんか。皆さん頑
張って子育てしているようで安心しま
した。

また、独身の人にも会いますが、職
場、プライベートで頑張ってください。



久保田克彦先生

みなさんお元気で
活躍のことと思い
ます。学校もずいぶ
ん変わりました。私
は高校等に出ていない方が多いで
すが、たまには顔を見せにお寄りくだ
さい。



橋本勝行先生

頑張って上級資格
をとってください。

*** 同窓会よりお知らせ ***

住所(現在、帰省先)・氏名などご変更があり
ましたら、下記までお知らせください。

学校法人コア学園
飯田コンピュータ専門学校
同窓会事務局
〒395-0823 長野県飯田市松尾明7591
TEL:(0265)22-5111 FAX:(0265)22-5100

飯田コンピュータ専門学校同窓会会則

(名称及び事務局)

第1条 本会は、飯田コンピュータ専門学校同窓会
と称し、事務局を同校内に置く。

(目的及び活動)

第2条 本会は会員相互の親睦、向上を図るととも
に、母校の教育の充実に寄与することを目的とする。
第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の
活動を行う。

- (1)会員間の親睦、向上を維持する活動。
- (2)母校の教育活動に対する援助。
- (3)その他、本会の目的達成のため必要な事項。

(会員)

第4条 本会は、飯田コンピュータ専門学校卒業生
をもって構成する。また、飯田コンピュータ専門学
校教職員を特別会員とする。

(役員)

第5条 本会に、次の役員を置く。

- (1)会長 1名
- (2)副会長 数名
- (3)会計 1名
- (4)幹事 若干名
- (5)監事 2名

第6条 役員の仕事は、次のとおりとする。

- (1)会長は、本会を代表し会務を総理する。
- (2)副会長は、会長を補佐し会長事故ある時は代理
する。
- (3)会計は、本会の出納、経理を処理する。

(4)幹事は、本会の会務を処理する。なお、幹事中
母校在職中の者はこれを校内幹事とし、本会の
庶務を担当する。

(5)監事は、本会の会務、会計を監査し結果を総会
に報告する。

第7条 役員は、総会において選任し、その任期は
1年とする。但し再任は妨げない。

(会議)

第8条 本会の会議は、総会、役員会とし、議決は
出席者の多数決による。

第9条 総会は、本会の最高議決機関であり、定期
総会は毎年5月末までに開催するものとし、会長
がこれを招集する。なお、臨時総会については、必
要に応じ、開催するものとする。

第10条 役員会は、総会に次ぐ議決機関で、必要に
応じ随時開催し、会長がこれを招集する。

第11条 総会、役員会の議長は会長が、これにあたる。

第12条 本会に各種委員会を置くことができる。委
員は会長が委嘱し正副委員長は委員の互選による。

(会計)

第13条 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の
収入をもってあてる。

第14条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり
翌年3月31日に終わる。

第15条 会計細則は別にこれを定める。

(会則の変更)

第16条 会則の変更は総会の議決による。

会計細則

第1条 会費は5,000円とし、入会の際に納入するも

リカレントカレッジ2000パソコン活用講座(前期)のご案内

リカレントカレッジ2000へお問い合わせをいただき誠にありがとうございます。当講座は今年度より申し込み方法等大幅に変更となりましたので、下記ご案内を良くお読みの上お申し込みください。

1. 講座日程と内容 (毎週月・木 午後7時～9時)

講座名	開始日	終了日	回数	講座内容
Windows98	4月10日	4月24日	5	①Windows98の基本操作 ②ワードパットを使った文書の作成と保存印刷 ③ペイントを使った絵の作成と文書への挿入 ④ファイルの管理 ⑤システムツールの利用 ⑥インターネットホームページの閲覧と電子メール
Word2000	5月8日	6月8日	10	①Word2000の基本操作 ②文書の作成 ③イラストの作成 ④表の作成 ⑤定型文書の作成
Excel2000	6月12日	7月13日	10	①ワークシートの作成と簡単な関数 ②グラフの作成 ③表の書式変更 ④ワークシートとグラフの印刷 ⑤高度な機能の紹介

2. 3講座講座料金 (いずれも税込み料金)

対象者	受講料
一般の方の料金	60,000円
市内在住・市内勤務の方の料金	50,000円

※講座料金には、テキスト代・資料代を含みます。

3. 講座実施環境

講座は飯田コンピュータ専門学校のパソコン実習室Bにて行います。使用するパソコンはデル・コンピュータ製OptiPlex Gxi (CPU:Pentium 166MHz)で、お一人1台使用していただきます。

講師は、当校の常勤講師が担当いたします。

4. 受講資格

当リカレントカレッジは普段パソコンをお使いの方のスキルアップを目的としております。従いましてパソコンに全く触れたことがない超初心者の方はご遠慮ください。

(7参照)

また、年齢は高校生以上とさせていただきます。

5. お申し込み方法

【パソコン活用講座(3講座一括)のお申し込み】

(ア)別紙「リカレントカレッジ2000受講申込用紙」に必要事項をご記入の上、当校あて郵送・FAX・持参で提出してください。(3月30日締め切りです。それ以前でも定員28名に達した時点で締め切ります)

(イ)折り返し受講受付書と振込用紙をお送りいたしますので、受講料をお振り込みいただくか、当校までご持参ください。振込手数料は各自ご負担ください。入金の際に正式なお申し込みとさせていただきます。なお、特別な事情がない限り受講料はお返してきませんのでご了承ください。

(ウ)開講当日午後7時までに当校へおいでください。

【講座ごとのお申し込み】

(ア)講座ごとのお申し込みは先着順に受け付けますので申込書をお送りください。ただし、受講可能かどうかは全講座一括申し込みが締め切られる(3月30日)までわかりません。

(イ)空きがある場合、3月31日に案内書と振込用紙を郵送いたします。講座開始日までに受講料を振り込むか当校までご持参ください。

(ウ)講座料金は以下の通りです。(テキスト代、資料代、消費税込み)

講座名	一般料金	市内料金
Windows98	12,000円	10,000円
Word2000	24,000円	20,000円
Excel2000	24,000円	20,000円

6. 当校へのお問い合わせ、受講料納付について

当校の事務室にお問い合わせください。

住所 飯田市松尾明7591 (飯田市総合運動場はす向かい)

電話 (0265) 22-5111 FAX (0265) 22-5100

E-Mail: ica@iidanet.or.jp

電話・窓口対応可能時間

月～金: 午前9時～午後5時30分

土曜日: 午前9時～午後4時 (3月18日をのぞく)

7. パソコンが全く初めての方向けのパソコン講座のご案内

以下のパソコン講座が当校が委託を受けて実施しておりますのでご利用ください。お問い合わせは各主催者までお願いいたします。

講座名	主催者名	電話番号
サンヒルズいいたパソコン講座	サンヒルズいいた	(0265)26-7909
シルバーパソコン講座 (60歳以上)	飯田市役所老人福祉係	(0265)22-4511
青少年ホームパソコン講座 (30歳以下)	飯田市勤労青少年ホーム	(0265)23-5571
飯田商工会議所パソコン講座 (会員のみ)	飯田商工会議所	(0265)24-1234

“ふるさと情報HP”のURLを紹介します

一度アクセスしてみてください

www.iidanet.or.jp

(飯田インターネット共同研究会)

www.shinshu.iida.nagano.jp

(飯田市ホームページ)

www.pref.nagano.jp

(長野県ホームページ)

www.hello.iidanet.or.jp

(地域情報検索ページ)

www.m2-web.com/an

(南信州地域限定ホームページ)

www.clio.ne.jp (CLIO-Net)

www.infovalley.ad.jp (Infovalley)

www.iida.co.jp (Internet IIDA)

www.tokyoweb.or.jp/iida(IIDA avenue)

www.avis.ad.jp (avis)

データ入力等も行います

「ふれあいサロン」では、データ入力などのパソコン作業を受託しております。

これまでお引き受けした主な業務、作業は次の通りです。

- (1)アンケートデータの入力と単純集計業務。
- (2)テープ起こし、議事録等作成業務。
- (3)顧客管理システムのデータ入力業務。
- (4)ホームページ制作、更新等管理業務。
- (5)スキャナによるデータ取り込み作業、画像データ処理、CD-ROM作成業務。
- (6)莫書、ポスター・チラシ等制作業務。
- (7)その他

これらの業務で、可能な限り納期にゆとりをもってご発注いただければ、仕様通りに処理させていただきますので、是非お声掛け下さい。

問い合わせ先: 飯田コンピュータ専門学校 地域情報化研究所「ふれあいサロン」
TEL(0265)22-5111 FAX(0265)22-5100
Email:tosiki@iidanet.or.jp

*** インターネットを始めましょう ***

飯田インターネット共同研究会(iidanet.or.jp)は、インターネットの普及とその利活用による地域の情報化推進を目標として、平成8年9月、飯伊地方の自治体や関連する団体などにより組織され、その運営を当校が担当して今日に至ります。その後、研究会活動に賛同される企業・事業所そして多くの個人会員の方々に支えられて発展して参りました。

一方で、関連技術の革新とネットワークの普及は目覚ましく、そうした新たな環境にマッチした研究活動は怠ることが出来ません。今後も多くの方々、事業所等にご参加いただき、共に地域のネットワークづくりを考えていきたいと願っております。

どうぞ、気軽に声を掛けていただき、電子メール、HPの利用・情報発信、ネットサービス等の研究にご利用いただければ幸いです。

問い合わせ先: 飯田コンピュータ専門学校

地域情報化研究所

TEL(0265)22-5111 FAX(0265)22-5100

Email:info@iidanet.or.jp

URL:http://www.iidanet.or.jp

伝言板

2000年度(前期)スケジュール	6 /	日商簿記検定 J検
4 / 6(木)	入学式	CG検定、
4 / 7(金)	オリエンテーション	マルチメディア検定
4 / 10(月)	始業式・授業開始	秘書検定
4 / 14(金)	健康診断	7 / 日商ワープロ検定 B検
4 / 28(金)	新入生歓迎会	7 / 21(金)～8 / 28(日) 夏休み
6 /	協賛会総会	

編集後記

「リベンジ」とは、「復讐」とか「返し」を指す極めて重い言葉なのだが、最近、テレビの娯楽番組などでも時々軽いノリで使われることが多い。昨年、野球界に華々しいデビューを飾ったあの松坂大輔投手が、オープン戦で巨人にプロの洗礼を受けた時、使ったことで一週に流行ったという。新人の初々しさ、爽やかさと共に、「リベンジ」とか「再挑戦」と云うほどの意味に使われ、本来の激しい語感はない。結構なことだ。二度や三度の失敗、挫折は当たり前前の就職戦線。余り深刻にならず常に前向きに「リベンジ」したい。久しぶりに「UP-LE」をお届けすることが出来ました。ご高覧下さい。